

楽しもう!!
2016

花火と能

と

優雅な能の舞と壮大な花火
ふたつの感動の世界へ!
特等席をご用意します



観世流二十六世宗家
観世清和

8.1 2016
月



S指定席	13,000円(税込)
A指定席	11,000円(税込)

※全席指定(能楽・花火鑑賞とも)
※料亭「老松」のお弁当・飲み物付
(お茶・缶ビール)

■大濠公園能楽堂
(9:00~17:00 月曜休み)
092-715-2155

■チケットぴあ
セブンイレブン、サークルK・サンクス
0570-02-9999
【Pコード:451-103】

■ローソンチケット
ローソン、ミニストップ
0570-084-008
【Lコード:83136】

大濠公園能楽堂
開演 17時30分

■開場 17:00
■食事休憩 19:10
■花火鑑賞 20:00

◎花火大会が翌日順延になった場合も、能楽公演は開催します。

福岡の夏の風物詩
西日本大濠花火大会
約六千発の花火が夏の夜空
を彩ります。

能狂言をご観賞の後は、
大濠公園能楽堂の芝生広場
から音と光の祭典を心ゆく
までお楽しみください。

西日本大濠花火大会

約六千発の花火が夏の夜空
を彩ります。

狂言 成上り 杜若 恋之舞 觀世清和
野村万禄

能と花火を楽しもう!!

2016

平成28年8月1日(月) 17時30分開演

番組

仕舞

半蔀

坂口信男
多久島利之

狂言

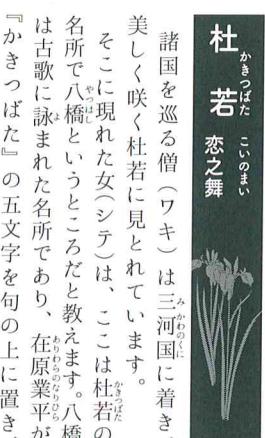
成上り

太郎冠者
野村万禄

小鼓
吉住
ア主ド
すかづぱど

吉住
講

井上裕之真
鷹尾嘉伸
今村嘉太郎
地語



初寅なので、主人は太郎冠者を供にして鞍馬寺に参詣し、そのまま夜を明かします。そこに現れた「すつぱ」はぐっすり眠つている太郎冠者が持つてある話」を始めます。人が出世するときには、いろんなものが変じて成り上がるといいます。そして主人も立身出世をするしに太刀が変じて杖竹に成り上がつたと説明します。杖竹とすり替えてしまいます。

美しく咲く杜若に見とれて、いいます。そこに現れた女(シテ)は、ここは杜若の名所で八橋というところだと教えます。八橋は古歌に詠まれた名所であり、在原業平が『かきつばた』の五文字を句の上に置き、

『ましあれば
はるばるきぬる
たびをしそ思ふ
旅をしそ思ふ
と旅の心を詠んだ故事を語ります。

尊かれるままに女の庵を訪ねた僧の前に、女は二条の后(藤原高子)の衣と業平の冠をつけた姿で現れ、この歌に詠まれた杜若の精と明かします。業平が歌舞の菩薩の化身であつたために仏果を得たことを語り、伊勢物語に記された業平の恋や歌をひきます。僧は不思議に思いながらも、女の語る『伊勢物語』の夢の世界に誘わっていきます。夜も白々と明けて、杜若の精は、悟りの境地を得たとして姿を消していきます。

恋之舞の小書(特殊演出)により、日暮の糸をつけ真之太刀を佩く姿に変わり、序之舞の中で水鏡に姿を映したりとみどころが多くなります。

杜若	能
恋之舞	狂言
後見	成上り
坂坂	半蔀
口口	仕舞
信貴	
男信	
常太郎	
飯白坂	
田清一	
笛森田	
田中徳	
和達	
今村嘉太郎 久保剛一 夫郎郎	坂口信男 多久島利之
今村嘉太郎 鷹尾多久島 維利嘉哲 教之伸郎	井上裕之真 鷹尾嘉伸 今村嘉太郎 地語
今村嘉太郎 森本多久島 嘉哲伸郎	

杜

若

杜若の精テ
觀世清和

旅ワ僧キ
森

能

太郎冠者
野村万禄

ア主ド
すかづぱど

吉住
講

大鼓

白飯

田

清一

笛

森

田

中

徳

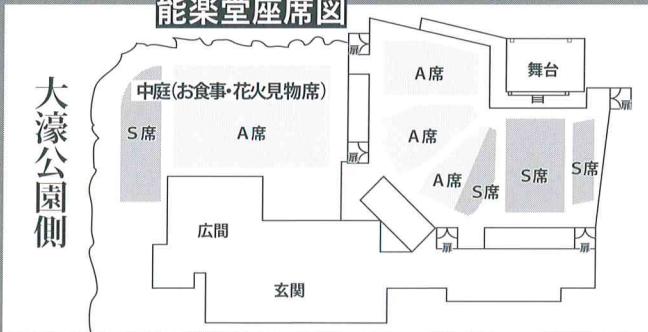
和

達

今村嘉太郎
久保剛一
夫郎郎

今村嘉太郎
鷹尾多久島
維利嘉哲
教之伸郎

能樂堂座席図



大濠公園側



大濠公園能樂堂

福岡市中央区大濠公園 1-5

☎ 092-715-2155

<http://www.ohori-nougaku.jp>

[地下鉄]

大濠公園駅・唐人町駅下車→徒歩7分

[西鉄バス]

黒門バス停 下車→徒歩3分

大濠公園バス停

お問い合わせ/大濠公園能樂堂

☎ 092-715-2155

大濠公園能樂堂

検索

能樂堂ホームページからもお申し込みできます。